

令和2年第1回伊賀市議会（定例会）

請 願 文 書 表

令和2年2月26日

1 受 理 番 号	請願第19号
2 受 付 年 月 日	令和2年2月12日
3 請願者の住所 及び氏名	伊賀市上友田256番地 伊賀市サッカー協会 会長 川瀬聡 外2名
4 請 願 の 件 名	Jリーグ基準のスタジアム整備を求めることについて
5 請 願 の 要 旨	<p>上野運動公園陸上競技場のスタジアム設備の改修若しくは新規建設を求めるものです。</p> <p>伊賀地域は古くからサッカーが盛んな地域で名を馳せてきました。その中でも伊賀FCくノ一三重は1976年のクラブ発足以来、日本の女子サッカー界をけん引し、リーグ優勝2回・皇后杯優勝3回と伊賀の地で市民クラブとして歴史を刻んでまいりました。</p> <p>そのような中、日本女子サッカーを女性活躍社会推進を命題とするスポーツコンテンツとして、その発展及び世界基準での女子サッカーの発展を目指すべく「女子プロリーグ」の開設(2021年の8月末開幕)が日本サッカー協会にて決定いたしました。これに伴い、リーグより発表されましたスタジアム基準を考察しますと、現在の上野運動公園陸上競技場では女子プロリーグ開催が困難となるため、以下の基準を満たすサッカー競技場への早期改修、もしくは、新規建設が必要となります。</p> <p>①5000人以上が収容できる個席の完備したスタジアム ②天然芝をフィールドとするサッカー専用グラウンド ③スタジアム内の演出設備=オーロラビジョン、音響システム ④ナイター設備(1500ルクス以上のもの) ⑤試合運営に必要とされる諸室完備(ロッカー、運営本部、審判室等) ⑥女性や子供が安心して利用できる設備完備(授乳室やトイレ、施設のバリアフリー化)</p> <p>上記基準を満たすスタジアムを整備することにより、競技力の向上はもとより、スポーツを楽しむ青少年達に夢を与え、伊賀市に対する郷土愛を育む事にも大きく寄与すると考えます。</p> <p>また永く市民に愛され、市民と共に歩んできた歴史を持つ伊賀FCくノ一三重もホームスタジアムの欠如を理由に、本拠地移転を考えざるを得ない状況になりかねません。今後も日本のトップリーグで活躍していくことは、スポーツツーリズムの観点からの伊賀市観光行政の一翼を担い、さらには生涯スポーツ都市宣言を行っている伊賀市のスポーツ振興に大きな業績を残し、伊賀市の全国的なPRにつながっていくと考えます。</p> <p>伊賀FCくノ一三重が今後も伊賀市を拠点に活動することは伊賀市はもとより、伊賀市民の大きな願いでもありと見え、国、県、市が連携をし、Jリーグ基準を満たす多目的スタジアム整備を強く求めます。</p>
6 紹 介 議 員	北出忠良、北森徹、西口和成、福村教親、山下典子、赤堀久実、嶋岡壯吉、田中覚、近森正利、百上真奈、空森栄幸
7 付 託 委 員 会	総務常任委員会